

日本ヒュームタフジ

精度と作業効率向上

セグメント用「FN継手」開発

日本ヒュームは6日、フジタ（東京都渋谷区、奥村洋治社長）と共にRCセグメント継手（Fastening）継手を開発した。「位置決め」と「継手の締結」を同時に実現するワンパス型継手で、「締結力」を有していることから真円度や施工精度の高い組み立てが可能。作業効率も向上する。下水道シールドトンネル工事の一部区間で実用化しており、内空2400ミリに対し組み立て時の内空変形量が1ミリと真円度が高いセグメントリングの組み立てが可能となることを確認した。今後もRCセグメントによるシールドセグメント工事への適用を進めていく方針だ。

真円度が高い組み立てが可能

変形を抑制し、真度が高い施工が可能。内面平滑なトンネルを構築することができるため二次覆工を省略できるほか、ボルト締め付け作業が不要となるため、施工の自動化にもつながるという。セグメントの継手構造として特許も取得している。

めどする新たな継手構造が多く開発されている。ただ、これらの継手の多くは嵌合部に組み立て（遊び）を有するために締結力が得られないか、締結力を有する継手は金物が特殊な構造となり高コストになる傾向があつた。締結力のない継手の場合、組み立て時の

なワンバス型継手にて、セグメント組み後の変形が15分の1

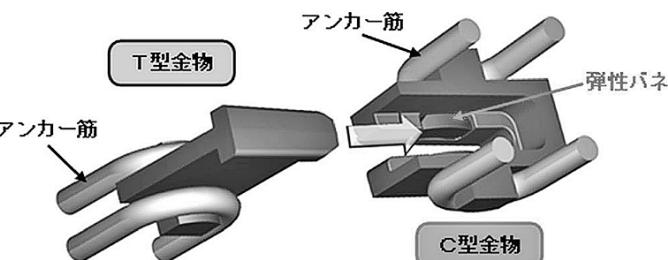
アラカルス

崎、小牧関して

は20

期していける。セグメント事業に備え、16年にかけて、三重、尼工場で日本

下水道協会の RCC セグメント製造工場認定 (JJS WAS A-4) を取得するとともに、日本シールドセグメント技術協会に加盟し、全国での供給体制を整えている。



FN 緒手の概要

に低減され
たという。

たという。「総合コンクリート、主義」を掲げる日本ヒュームはコンクリート製品の設計・製造・施工のワンストップサービスを提供し、社会基盤の整備に貢献を期している。セグメント製造工場認定(JSS-WAS A-4)を取得するとともに、日本シー